

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議での主な意見について

- ✓ 64歳以下の接種券を早めに送付することで、ワクチンを無駄にすることなく、集団接種会場などで臨機応変に接種を進めることができるようになる。
- ✓ 集団免疫を作るため、8月末までに最低100万人の接種を目標に、年齢に捉われずワクチン接種を進め、次の感染の波を抑えていかなければならない。
- ✓ まちづくりセンターなど、小さい単位でワクチン接種から取り残されている市民の支援をしてほしい。
- ✓ 第5波に備えて、医療機関の役割分担や陽性者を診る外来機能の設置を検討するなど、リソースを効率的に使うことが重要である。
- ✓ 飛沫の危険性や変異株の感染性の強さ、若年層の重症化リスク、ワクチンの有効性など、根拠に基づく正しい情報を発信していくべき。
- ✓ 陽性者自身や家族などによる血中酸素飽和度の測定などの健康観察により、重症化する前に医療につながるための自助・共助を呼び掛けていく必要がある。